



副理事長

作本 貞子

NPO法人ヘルスケアネットワーク(OCHI-S)

「健康」を左右する要因は、個人の問題だけではなく、働き方や家庭環境など多岐にわたります。とりわけトラックドライバーの場合は、不規則勤務や早朝・深夜労働など、

個人の努力だけでは解決しきれない就業形態があります。さらに今は運輸業の過労死が取り沙汰され、厳しい労働条件が社会問題となり、注目されています。

そんな中、昨年末に「貨物自動車運送事業法」という画期的な法律が成立し、ドライバーの労働時間や低賃金にも一定のメスが入るというビッグニュースが飛び込んできました。これは、ドライバーの健康管理の「基礎部分」が整いつつあることを示す、まさしく明報なのです。

◆1日1食のドライバーをなくしたいしかし現状ではどうか

といふと、1日1食しか食事をしないドライバーが多く存在していて、そ

の空腹を甘いパンやお菓子、清涼飲料水で紛らわしているという、「負のスパイラル」の生活習慣

の構図が見え隠れしています(運輸ヘルスケアナビシステム)に関連したドライバーアンケートよ

り)。もし仕事の時間に追われて食事時間の確保さえ

も難しいというのであれば、これを機に、せめて1日3回の食事ができる

ドライバーの健康元年に 画期的な法律も成立了

職場環境の整備が不可欠になるとと思われます。一刻も早く本法律が現場に浸透するよう願っています。

◆運輸ヘルスケアナビ

システムの成功

事業法という健康に不可欠な基礎部分が確固たるものとなり、その土台に運輸ヘルスケアナビシステム

システムといふサポート

が重なり、有効に機能します。

事業法といふ健康に不可欠な基礎部分が確固たるものとなり、その土台に運輸ヘルスケアナビシステムといふサポート

が重なり、有効に機能します。

事業法といふ健康に不可欠な基礎部分が確固たるものとなり、その土台に運輸ヘルスケアナビシステムといふサポート

が重なり、有効に機能します。